

(注) 文字がかすむ、ぼやけて見える等の症状

- Wi-Fiルーターの近くに移動
- 画像解像度を下げる
- 重い動画等を見ている家族にやめてもらう

介護福祉士一発合格

正月特訓講座2024

『医療的ケア』

～最少出題数科目でラクラク合格点を取る技～

2024/1/2～1/3

てっちゃん先生☆

医療的ケア最大のポイント

- 5 問のうち **1 問** は「**常識で解ける問題**」が必ずある！
→絶対ゲット
- その上で、さらに **もう 1 点ゲット** すればラクラク合格点到達！

病気・障害の勉強の鉄則

- ・ どこが ・ ・ ・ ・ ・ 体の場所
- ・ どうなると ・ ・ ・ ・ ・ 故障・変形
- ・ 何が出て ・ ・ ・ ・ ・ 症状
- ・ どうすればいい？ ・ ・ 支援

痰を自力で排出できない人

- ・ どこが ・ ・ ・ ・ ・ 気管、喉
- ・ どうなると ・ ・ ・ ・ ・ 痰が溜まる
- ・ 何が出て ・ ・ ・ ・ ・ 呼吸困難、窒息、肺炎
- ・ どうすればいい？ ・ ・ 医行為による喀痰吸引

喀痰吸引の鉄則

- ・ 道具と管理 ・ ・ ・ ・ ・ カテーテル、吸引器(びん)
- ・ どんな姿勢 ・ ・ ・ ・ ・ **セミファースター位**：上半身**10～30度**挙上
体位ドレナージ
- ・ 範囲と時間 ・ ・ ・ ・ ・ **咽頭手前、気管カニューレ内部**
1回**15秒以内**
鼻腔内は特に注意！！
- ・ 終了後 ・ ・ ・ ・ ・ 吸引物はびんの**70～80%**前に廃棄

食事が自力でできない人

- ・ どこが ・ ・ ・ ・ ・ 口腔
- ・ どうなると ・ ・ ・ ・ ・ 運動障害、嚥下障害
- ・ 何が出て ・ ・ ・ ・ ・ 口からの食事摂取困難／不可能
誤嚥性肺炎
- ・ どうすればいい？ ・ ・ 医行為による経管栄養
口腔ケアは必要

経管栄養の鉄則

- ・ 道具と栄養剤 ・ ・ ・ ・ イリゲーター、クレンメ、シリンジ
液状、半固形状（医薬品は要医師処方）、白湯
- ・ どんな姿勢 ・ ・ ・ ・ **ファースター位**：上半身**30～60度**挙上
(**逆流注意**)
- ・ 注入方法 ・ ・ ・ ・ ・ 液面を胃から50cm高く
速度速いと下痢をする
- ・ 終了後 ・ ・ ・ ・ ・ シリンジで胃ろうチューブに白湯を流す

医療的ケアまとめ

★規定法

→ **社会福祉士及び介護福祉士法**に基づき、**実地研修の修了**が必要

★喀痰吸引の範囲

→ **咽頭の手前**まで／**気管カニューレ内部**

(注) 喉頭ではない！！

★実施時の姿勢

- ・ 喀痰吸引→上半身**10～30度**挙上 **セミフアーラー位**
- ・ 経管栄養→上半身**30～60度**挙上 & 膝を軽く屈曲 **フアーラー位**

31回-問題 112

胃ろうによる経管栄養の実施手順として、栄養剤を利用者のところに運んだ後の最初の行為として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 体位の確認
- 2 物品の劣化状況の確認
- 3 栄養剤の指示内容の確認
- 4 本人であることの確認
- 5 経管栄養チューブの固定状況の確認

31回-問題 111

気管切開をして人工呼吸器を使用している人の喀痰吸引に関する次の記述のうち，正しいものを1つ選びなさい。

- 1 気管カニューレを抜いて，吸引を行う。
- 2 頸部を前屈した姿勢にして，吸引を行う。
- 3 1回の吸引時間は，20～30秒とする。
- 4 吸引チューブの挿入の深さは，気管分岐部の手前までである。
- 5 吸引を終了した後は，人工呼吸器の作動状況を確認する。

32回-問題 109

介護福祉士が医師の指示の下で行う喀痰吸引の範囲として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 咽頭の手前まで
- 2 咽頭まで
- 3 喉頭まで
- 4 気管の手前まで
- 5 気管分岐部まで

33回-問題 113

経管栄養の実施に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 経管栄養の準備は、石鹸と流水で丁寧に手を洗ってから行う。
- 2 栄養剤は、消費期限の新しいものから使用する。
- 3 胃ろうや腸ろう周囲の皮膚は、注入開始前にアルコール消毒を行う。
- 4 カテーテルチップシリンジは、1回使用したら廃棄する。
- 5 口腔ケアは、数日に1回行う。

31回-問題 109

次のうち，スタンダードプリコーション（standard precautions：標準予防策）において，感染する危険性のあるものとして取り扱う対象を1つ選びなさい。

1 汗

2 唾液

3 経管栄養剤

4 傷のない皮膚

5 未使用の吸引チューブ